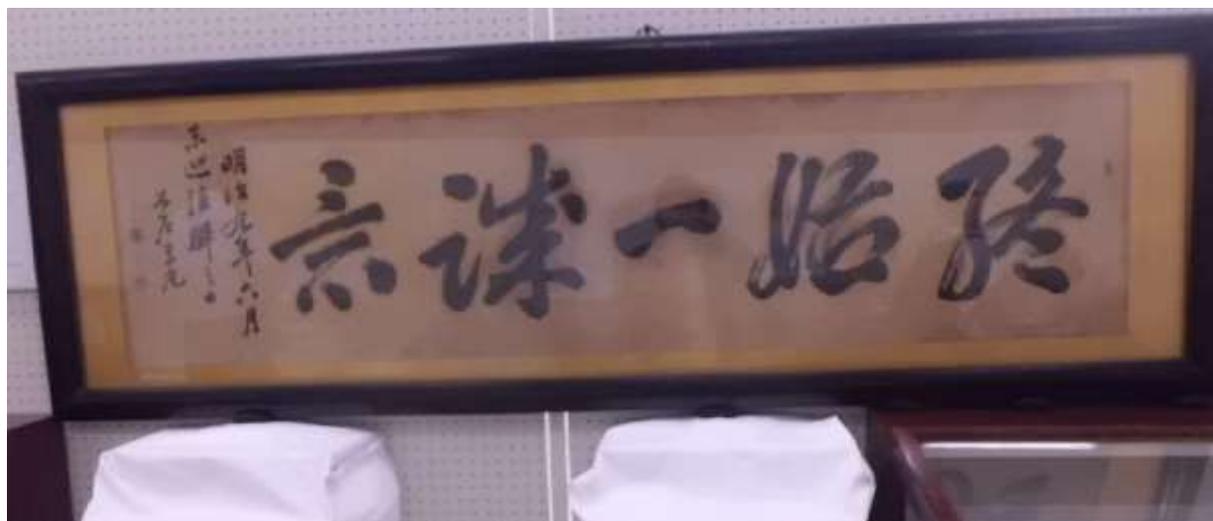




本校の歴史を 再確認 !



明治9年、明治天皇の東北巡幸の折、本校が行在所(宿泊所)となり、明治天皇は、本校の教育について視察されました。この写真の書は、その際、侍従であった木戸孝允公が本校に書き残されたものです。以来、書の言葉である「終始一誠意」が本校の校訓となり、現在も本校の教育理念として大切に受け継がれています。

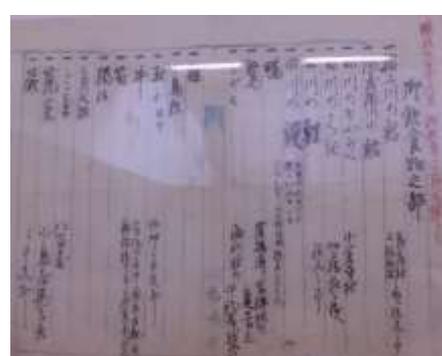
この書は、普段は職員室に掲げられていますが、現在、特別展示「明治の東北巡幸と福島町 そして 万世大路」と題して、こむこむ館1階にぎわい広場に展示されています。行在所となった当時の本校の校舎写真や、南校舎と体育館への通路にある「一誠館」に保管されている東北巡幸ゆかりの品々の一部も見るすることができます。福島県の歴史の中で重要な役割をもつ本校の歴史を知る機会でもあります。是非ご覧ください。展示期間は、本日9月25日(水)から10月4日(金)です。



<東北巡幸には、馬や馬車が使われました。浮世絵にそのときの様子が描かれています。本校の正面玄関にも写しがあります。>



<普段は校長室に掲げている当時の校舎写真をお貸ししました。>



<東北巡幸の際に出された食事のメニューです。たくさんの福島の食材が使われています。>